

八代市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)

(第4期特定健康診査等実施計画) 令和6年度～令和11年度

【第2期計画の分析・評価等について】 概要版

全ての保険者は、健康・医療情報を活用し、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(以下「データヘルス計画」)を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うこととされています。

本市国保においては、「データヘルス計画(平成27～29年度)」を策定し、「第2期データヘルス計画(平成30～令和5年度)」では、「第3期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定し、保健事業を実施してきました。

保健事業を引き続き実施するにあたり、国の指針に基づいて、「第3期データヘルス計画(以下「計画」)」を「第4期特定健康診査等実施計画」と一体的に策定します。

《 目的 》

本計画では、国保データベース(以下「KDB」)を活用し、特定健康診査の結果やレセプト、介護保険等のデータ分析を行い、優先的に取り組むべき健康課題を抽出した上で、生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組み、国保加入者の健康保持増進を図ることで、健康寿命の延伸、ひいては医療費適正化を目指します。

《 第2期計画にかかる評価及び考察 》 表1参照

第2期計画においては、医療費が高額となる糖尿病性腎症等の人工透析患者、虚血性心疾患、脳血管疾患の共通のリスクとなる糖尿病、高血圧症、脂質異常症、メタボリックシンドローム等を減らすことを目標に、特定健診、特定保健指導、重症化予防などの保健事業の取組を実施しました。

中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ○人工透析患者の数・割合は減少したが、入院費用の増加により1人当たりの医療費は増加している。 ○糖尿病性腎症重症化予防の取組で、新規人工透析者数、割合ともに減少しているが、血糖異常者の割合は増加している。今後も糖尿病性腎症の重症化予防を継続して取り組む必要がある。 ○脳血管疾患については数、割合ともに増加しており、重症化予防の取組として、特定健診受診者全員に心電図検査を継続実施するとともに、有所見者に対する保健指導を実施していく必要がある。
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ○血糖異常者、高血圧の割合は増加し、メタボリックシンドローム該当者・予備群も増加している。 ○特定保健指導実施率は、目標値に近い数値を達成できているが、メタボリックシンドローム等の改善には至っておらず、本市の健康課題である高血糖や高血圧等の改善に繋がっていない。効果的な保健指導が実施できるよう見直しが必要である。 ○健診後、治療につながった者でも治療を中断する者も見受けられることから、未治療・治療中断者に対して、医療機関と連携した重症化予防の保健指導を強化する必要がある。 ○特定健診継続受診者は、健診結果の悪化を防ぐことが出来ているため、重症化予防のためにも、継続受診者を増やし受診率向上を図る必要がある。

※資料 P81 図表 35 に誤りがありました。概要版 表1 に差替えをお願いいたします。

表1 第2期計画のデータヘルス計画の目標管理一覧

関連計画	達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績			データの把握方法		
			初年度 H30	中間評価 R2	最終評価 R5			
			(H30)	(R2)	(R4)	(活用データ)		
データヘルス計画	中長期目標	1人当たりの医療費(円)	363,660	367,780	390,283	KDBシステム		
		人工透析(人)	174	155	↓ 135			
		再)新規人工透析(人)	14	6	8			
		新規 糖尿病性腎症	265	207	222	保険者データ支援システム新規患者リスト		
		新規 脳血管疾患	426	461	↑ 470			
		新規 虚血性心疾患	578	585	533			
		最大医療資源	慢性腎不全	透析あり	10.8%	10.4%	9.3%	
		データヘルス計画	短期目標	健診受診者の血糖異常者の割合 (HbA1c7.0%以上)*1	4.3%	3.8%	↑ 4.8%	法定報告特定健診データ
				服薬中でHbA1c7.0%以上の割合	3.1%	2.7%	3.2%	
				服薬なしでHbA1c7.0%以上の割合	1.2%	1.1%	1.6%	
				健診受診者の高血圧者の割合 II度以上高血圧(160mmg/100mmg以上)	5.9%	6.3%	↑ 6.8%	
				服薬中でII度以上高血圧の割合	2.6%	2.7%	2.9%	
服薬なしでII度以上高血圧の割合	3.3%			3.5%	4.0%			
健診受診者の脂質異常者の割合の減少 (LDLコレステロール140mg/dl以上)*2	29.0%			23.5%	23.5%			
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	29.9%			30.1%	↑ 31.3%			
特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	特定健診受診率(60%以上)	34.2	25.4	31.8	法定報告値			
	特定保健指導実施率(60%以上)	57.0	59.5	60.0				
	特定保健指導対象者の割合の減少	11.8	10.9	11.7				

*1 HbA1c (ヘモグロビン A1c) : 赤血球内のヘモグロビンと血糖が結合したもので、過去1~2ヵ月間の平均血糖値を反映しているもので、糖尿病の診断に用いられる指標

*2 LDL コレステロール : 肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる、悪玉コレステロール

《 第3期計画における健康課題の明確化 》

国保では被保険者のうち、65 歳以上の高齢者の割合が高く、前期高齢者に係る医療費の割合の増加が考えられ、また、若年期からの生活習慣病が、高齢期での重症化事例や複数の慢性疾患につながるため、国保及び広域連合において、健康課題の分析結果等を共有し、綿密な連携に努めることが重要です。

	健康課題	取組の方向性
中長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ○1 人あたりの医療費は増加している。 ○脳血管疾患・虚血性心疾患・腎不全は、糖尿病、高血圧等の重なりが重症化に繋がっている。 ○若い世代に脳血管疾患、腎不全の増加がみられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●増加傾向にある腎不全や脳血管疾患等の重症化予防に優先して取組む必要がある。 ●糖尿病や高血圧等の早期受診勧奨や治療中断を予防する保健指導を継続して実施し、重症化予防に取組む必要がある。
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ○高血糖や高血圧の有所見者が増加しており、その原因となるメタボリックシンドロームも増加している。 ○BMI25 以上の割合が増加しており、特に 40～64歳が大きく増加している。 ○40 歳代、50 歳代の健診受診率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●被保険者の健康実態を把握し、早期に予防活動を行うため、特定健診受診率の向上を行う必要がある。特に受診率の低い 40 歳代、50 歳代の健診未受診者対策に取組む必要がある。

《 目標の設定 》 表 2 参照

次期計画策定では、データヘルス計画の手引きが改訂され、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、各保険者で策定する計画の標準化の取組の推進や保険者共通の評価指標の設定の推進が進められています。そのため、第 3 期の評価指標については、熊本県共通の指標と地域の実情に応じた指標を設定しています。

※第 3 章以降は、「第 2 回八代市国民健康保険運営協議会」で報告予定

第 3 章 特定健診・特定保健指導の実施(法定義務)

第 4 章 課題解決するための個別保健事業

第 5 章 計画の評価・見直し

第 6 章 計画の公表・周知及び個人情報の取扱い

表2 第3期データヘルス計画目標管理一覧 ★熊本県共通指標

※資料 P91 図表 49 に誤りがありました。概要版 表 1 に差替えをお願いいたします。

達成すべき目的	課題を解決するための目標	目標値	実績			データの把握方法 (活用データ)
			初期値 R6 (R4)	中間評価 R8 (R7)	最終評価 R11 (R10)	
中長期目標	脳血管疾患・虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析等の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合	減少	1.83		KDBシステム
		虚血性心疾患の総医療費に占める割合	減少	0.89		
		慢性腎不全(透析あり)総医療費に占める割合	減少	4.96		
		1人当たりの医療費(円)	維持	390,283		
		人工透析(人)	減少	135		
		再)新規 人工透析(人)	減少	8		保険者データヘルス支援システム
		再)新規糖尿病性腎症による新規人工透析導入者数(人)	減少	6		
		新規 脳梗塞患者数(人)	減少	382		
		新規 脳出血患者数(人)	減少	88		
		新規 虚血性心疾患(人)	減少	533		
短期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム該当者の割合	減少	19.3		特定健診等データ管理システム、ラボツール、保険者データヘルス支援システム、
		メタボリックシンドローム予備群の割合	減少	12		
		健診受診者の高血圧者の割合(160mmHg/100mmHg以上)	減少	6.8		
		健診受診者の脂質異常者の割合(LDLコレステロール180mg/dl以上) * 2	減少	2.6		
		40歳代・50歳代のHbA1c6.5%以上の割合 * 1	減少	10.6		
		HbA1c7.0%以上の割合 * 1	減少	4.8		
		再)★HbA1c8.0%以上の割合 * 1	減少	0.98		
		糖尿病未治療者の割合	減少	5.4 (R3)		
		糖尿病治療中断者の割合	減少	2.2 (R3)		
		特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	★特定健診受診率	60%	31.8	
	40代・50代の特定健診受診率	増加	24.5			
	★特定保健指導実施率	60%以上	60.0			
	★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	増加	-1.9			